

(予告)フェスティバル/トーキョーが明日から開幕！
～ 池袋西口公園に謎のドーム出現！～

池袋西口公園に、直径 11m、高さ 6m の巨大な白いドームが二つ並んで設置され、池袋を訪れる人たちの目を引いている。

この二つのドームは、いよいよ明日から開幕する、フェスティバル/トーキョー(以下、「F/T」という。)のインフォメーションセンターとなる「F/Tステーション」。ここは、F/Tに関する総合的な案内、F/Tオリジナルグッズや上演作品関連書籍を販売するショップ、特別メニューを味わえるカフェなどの機能を持つ。また、その他にも、F/Tステーションでは、アーティスト新野圭二郎氏が作成した、F/Tで上演される作品の脚本から抜粋した台詞等を使ったインスタレーションも披露される。フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局の小滝友見子氏は、「カフェも併設されていますので、気軽にF/Tステーションに来ていただいて、それをきっかけに舞台のほうにも興味を持っていただければと思います。また、会場となる東京芸術劇場とも隣接していますので、観劇後に感想を語り合うなど、お客様どうしの交流の場にもなってほしいですね」と語った。

また、このF/Tステーションのカフェで、2月27日(金曜日)から3月29日(日曜日)の間の、金曜日の19時以降と、土・日曜日と祝日の12時以降に限ってオープンするのが、振付家 伊藤キム氏がプロデュースする「おやじカフェ」。カフェの店員は、公募で集まった20代から60代までの、20人の自称「おやじ」たちである。

このおやじカフェの店員は、給仕などのサービスも、また不定期に始まるショータイムでのダンスも、自らの身体を使って、若者には絶対に出せない大人の男の魅力を示しながら行なう。

店員の中には、ダンスもウェイターもやったことのない人もいる。そんな普通の「おやじ」たちが、人前でダンスを踊ったり、自分をアピールしたりするためには、まず羞恥心に打ち勝つことが必要という。振付けを覚えつつ、人前で踊ることに慣れるため、参加者たちは、1月18日から猛練習を行ってきた。愛知からの参加者は、絶対的に不足する練習時間を、自分で東京の会場を押さえ、他の参加者に呼びかけて「自主練」を行なうことで補ったという。

そんな練習の成果は、いよいよ27日(金曜日)にオープンを迎える「おやじカフェ」で披露される。「おやじ」の魅力を、看板料理「おや汁(オヤジル)」とともに味わいたい。

○「フェスティバル/トーキョー」(F/T)
 F/Tは、1988年に開催された「東京国際演劇祭'88 池袋」を起点に、2002年からの「東京国際芸術祭(TIF)」などを通じて培ってきた経験をもとに、2009年2月から始まる国際的な舞台芸術フェスティバル。
 東京芸術劇場、サンシャイン劇場、シアターグリーン、あうるすぽっと等、大小の劇場が多く、演劇活動が活発な本区は、今回のF/Tの開催により“演劇のまち”「池袋」を国内外にPRし、文化芸術の振興と文化を基軸としたまちづくりを推進していく。

写 真
 *写真はメ
 ールで送り
 ます



池袋西口公園のドームの外観



「おやじ」たち (Photo by Masahiro Hasunuma)

問 合 せ フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

平成 21 年 2 月 2 日

(予告) フェスティバル/トーキョー プレ・オープニング

国際シンポジウム「今日の文化を再考する」開催

来る 4 日 (水曜日) の午後 2 時から、東京芸術劇場中ホールにおいて、フェスティバル/トーキョー (以下、「F/T」という。) のプレ・オープニングイベントとして、国際シンポジウム「今日の文化を再考する—米国・フランス・日本の文化システム論を巡って」が開催される。

今回、F/T のプレ・オープニングイベントとして開催されるのが、日仏のアーティスト、ジャーナリスト、政治家による国際シンポジウム。新進気鋭の仏人作家フレデリック・マルテルが論じる壮大なアメリカ文化システム論を出発点として、21 世紀に可能な文化システムの新地平を探っていくという。

東京発の舞台芸術の祭典 F/T の幕開けを飾る、ダイナミックな文化システム論が池袋で繰り広げられる！

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 2 月 4 日 (水) 午後 2 時～6 時 ※ 予定人数に達したため、一般の募集は締め切らせて頂きました。 当日の取材につきましては、区広報課 03(3981)4122 までお問合せください。 |
| 場 所 | 東京芸術劇場 (西池袋 1-8-1) 中ホール |
| 概 要 | ○基調講演： フレデリック・マルテル (作家・ジャーナリスト、『超大国アメリカの文化カーン文化外交官による全米踏査レポート』著者) ジャック・ラング (政治家・元フランス文化大臣) ○パネル・ディスカッション： ジャック・ラング/フレデリック・マルテル/辻井喬/外岡秀俊/平田オリザ (敬称略) |
| 背 景 等 | ○「フェスティバル/トーキョー」(F/T) F/T は、1988 年に開催された「東京国際演劇祭'88 池袋」を起点に、2002 年からの「東京国際芸術祭(TIF)」などを通じて培ってきた経験をもとに、2009 年 2 月から始まる国際的な舞台芸術フェスティバル。 東京芸術劇場、サンシャイン劇場、シアターグリーン、あうるすぽっと等、大小の劇場が多く、演劇活動が活発な本区は、今回の F/T の開催により“演劇のまち”「池袋」を国内外に PR し、文化芸術の振興と文化を基軸としたまちづくりを推進していく。 |
| 写 真 |  昨年 11 月 25 日の記者会見の様子 1  昨年 11 月 25 日の記者会見の様子 2 |
| 問 合 せ | 文化デザイン課 |

平成 20 年 11 月 25 日

世界に舞台芸術を発信！フェスティバル/トーキョー

F/T09

フェスティバル/トーキョー
トーキョー発、舞台芸術の祭典
2009年2月～3月開催決定

～ 区内3劇場で、来年2～3月開催 ～

世界の最先端から、現代の日本を代表する作品（演劇やダンス）まで、19 演目をラインナップした舞台芸術の祭典“フェスティバル/トーキョー”を開催する。

大小劇場が多くあり劇団等の演劇活動が盛んな池袋周辺で、来年平成 21（2009）年 2～3 月に開催する新たな祭典。会場は、区内の東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしすがも創造舎の 3 劇場。

本日開催した記者会見の場で、プログラム・コンセプト、プログラム内容など、参加アーティストも登壇して、1 ヶ月、多くのアーティスト・作品を見ることができるフェスティバルの醍醐味を紹介した。

フェスティバル/トーキョーは、舞台芸術ならではの力やアーティストの豊かな想像力を助けに、強いコミュニケーションやリアルな体験の場をはぐくみ、東京から新しい文化の波を生み出すべく、東京文化発信プロジェクトの一環として開催する。

記念すべき第 1 回は、演劇文化に縁の深い池袋周辺の 3 劇場をメインに開場に、来年 2 月 26 日から 3 月 29 日の 1 ヶ月間、19 演目 130 公演がフェスティバルを彩る。9 演目が新作、東京から世界に向けてあらたなる創造と発信の第一歩を踏み出すことになる。

また、約 1 ヶ月に渡る期間中には、池袋西口公園を使った野外イベントなど地域・区民との協働で様々な仕組みや関連プログラムを充実させ、また、シンポジウム等の関連プログラムも開催する。

【概要】

会 期：平成 21 年 2 月 26 日～3 月 29 日

会 場：東京芸術劇場中ホール、小ホール 1・2、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、にしすがも創造舎 ほか

プログラム：国内外から舞台芸術（演劇・ダンス）作品 19 演目をラインナップ

主 催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

東京都、豊島区、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

チケット発売日：平成 20 年 12 月 18 日（木曜日）

フェスティバル/トーキョー、ぷれいす、イープラス、電子チケットぴあ等で取扱い

参加アーティストによる挨拶では、蛭川幸雄氏が「我々が外国に演劇を観に行くように、彼らが東京に観に来てもらえるような舞台を創りたいと強く願っている」と語った。池袋や巣鴨で活躍をしている Prot B の高山明氏は、フェスティバルのために 2 作品をバージョンアップさせ、「観客が演劇の主体になる舞台を創りたい」と意気込みを語った。また、平田オリザ氏は、あうるすぽっとで上演する日本・イラン・フランスの国際共同製作、メタ・メタ演劇構造の「ユートピア？」をビデオレターで紹介した。

蛭川幸雄氏と韓国のニナガワと呼ばれるイ・ユンテク氏



アーティストのフォトセッション



* プログラムは、別紙 * 記者会見の写真をメールで送ります。

問い合わせ： 豊島区文化デザイン課

/ フェスティバル/トーキョー プログラム

F/T パフォーマンス

- ①ヘルガルド・ハウグ、ダニエル・ヴェツェル(リミニ・プロトコル) / カール・マルクス: 資本論、第一巻
- ②イ・ユンテク / オセロー
- ③高山明 (Port B) / 雲。家。
- ④高山明 (Port B) / サンシャイン 63
- ⑤松井周 (サンプル) / 火の顔
- ⑥天児牛大 (山海塾) / 金柑少年
- ⑦ロメオ・カステルッチ (ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ) / Hey Girl!
- ⑧白井剛 / blue Lion
- ⑨井手茂太 / コウカシタ
- ⑩蜷川幸雄 さいたまゴールド・シアター / 95kg と 97kg のあいだ
- ⑪松田正隆 (マレビトの会) / 声紋都市 - 父への手紙 / Voiceprints City - Letter to FATHER
- ⑫平田オリザ、アミール・レザ・コヘスタニ、シルヴァン・モーリス / ユートピア?
- ⑬飴屋法水 / 転校生
- ⑭演劇/大学 09 春

F/T 参加作品

- ⑮野田秀樹 (NODA・MAP) / パイパー
- ⑯三浦大輔 (ポツドール) / 愛の渦
- ⑰サイモン・マクバーニー / 春琴
- ⑱珍しいキノコ舞踊団 × plaplax / The Rainy Table
- ⑲笠井叡 / another BATIK



フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

平成 20 年 11 月 5 日
フェスティバル/トーキョー実行委員会

東京発、舞台芸術の祭典 フェスティバル/トーキョー開催について 記者会見のご案内

**世界の最先端から、現代の日本を代表する作品（演劇やダンス）まで。約 20
演目をラインナップ！**

東京都、豊島区、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパンは、フェスティバル/トーキョーを平成 21 年 2 月～3 月の間、開催致します。

つきましては、開催趣旨、公演内容の詳細等についてご説明差し上げたく、下記の通りフェスティバル/トーキョー開催についての記者会見を行います。ご多忙の折とは存じますが、この機会に是非お越し頂きたく、ご案内申し上げます。

—記—

日 時：平成 20 年 11 月 25 日（火）15:00～17:00

場 所：東京芸術劇場 5 階 大会議室（大エスカレーターを上って正面）

池袋駅下車、西口より徒歩 1～2 分 <http://www.geigeki.jp/access.html>

出席者

アーティスト（予定）：飴屋法水、イ・ユンテク、井手茂太、高山明、蜷川幸雄、松井周、
松田正隆、宮城聡（五十音順）

フェスティバル/トーキョー実行委員長：市村作知雄（NPO 法人アートネットワーク・ジャパン）

プログラム・ディレクター：相馬千秋（NPO 法人アートネットワーク・ジャパン）

内 容：第一部 15:00～16:00：開催概要、プログラム紹介、フォトセッション、質疑応答等
※海外アーティスト（ロメオ・カステルッチ等）のビデオメッセージ、公演作品の
プレビュー紹介等も予定しています。

第二部 16:00～17:00：懇談会

※フェスティバル/トーキョーは、東京文化発信プロジェクトの一環として開催されます。

東京文化発信プロジェクトについて

東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子どもたちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体等と協力して実施するもので、演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野で文化イベントを展開しています。

F/T09

フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

平成 20 年 11 月 5 日
フェスティバル/トーキョー実行委員会

フェスティバル/トーキョーについて

【概要】

- 会 期 : 平成 21 年 2 月 26 日～3 月 29 日 (予定)
会 場 : 東京芸術劇場中ホール、小ホール 1・2、あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)、にしすがも創造舎特設劇場 ほか
プログラム : 国内外から舞台芸術 (演劇・ダンス) 作品約 20 演目をラインナップ
主 催 : フェスティバル/トーキョー実行委員会
東京都、豊島区、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

速報! チケット発売日決定! 平成 20 年 12 月 18 日 (木)

フェスティバル/トーキョー、ぷれいす、イープラス、電子チケットぴあ等で取扱い

【プログラム】

- ・『カール・マルクス: 資本論、第一巻』 演出: ヘルガルド・ハウグ、ダニエル・ヴェツェル (リミニ・プロトコル) 【ドイツ】
- ・新作『オセロー』 演出: イ・ユンテク 【韓国】
- ・『金柑少年』 演出・振付・デザイン: 天児牛大 (山海塾)
- ・『Hey Girl!!』 演出: ロメオ・カステルッチ (ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ) 【イタリア】
- ・新作『blue Lion』 振付・演出: 白井剛
- ・『95kg と 97kg のあいだ』 演出: 蜷川幸雄 作: 清水邦夫
- ・新作『声紋都市—父への手紙/Voiceprints City-Letter to FATHER』
作・演出: 松田正隆 (マレビトの会)
- ・新作『ユートピア?』 作・演出: 平田オリザ、アミール・レザ・コーヘスタニ 【イラン】、シルヴァン・モーリス 【フランス】
- ・『転校生』 演出: 飴屋法水 作: 平田オリザ
- ・参加作品: 『春琴』 演出: サイモン・マクバーニー 【イギリス】

フェスティバル参加アーティスト 追加発表!!

井手茂太 (イデビアン・クルー) 『コウカシタ』、高山明 (PortB) 『サンシャイン 63』 『雲。家。』、松井周 (サンプル) 『火の顔』
参加作品: 野田秀樹 (NODA MAP) 『パイパー』、三浦大輔 (ポッドール) 『愛の渦』
珍しいキノコ舞踊団×plaplax 『The Rainy Table』、笠井 叡×BATIK 『another BATIK』



写真クレジット

左『オセロー』 (c) Lee Do-hee
中央『カール・マルクス: 資本論、第一巻』 (c) Sebastian Hoppe
右『Hey Girl!!』 (c) Steirischerherbst/Manninger

<お問い合わせ先> フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 アートネットワーク・ジャパン内

平成 20 年 9 月 19 日

世界に舞台芸術を発信！フェスティバル／トーキョー

F/T09

フェスティバル／トーキョー
トーキョー発、舞台芸術の祭典
2009年2月～3月開催決定

～ 区内3か所の劇場で来年2～3月開催 ～

大小劇場が多くあり劇団等の演劇活動が盛んな池袋周辺で、来年平成 21 (2009) 年 2～3 月新たな舞台芸術の祭典“フェスティバル／トーキョー”を開催することが決まった。豊島区内の東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしすがも創造舎特設劇場の3劇場を会場に、約 20 演目の最新の演劇やダンスの舞台芸術を世界に発信していく。

【フェスティバル／トーキョー (Festival/Tokyo)】

会 期：2009 年 2 月下旬～3 月下旬

会 場：東京芸術劇場（西池袋 1-8-1）、あうるすぽっと（区立舞台芸術交流センター 東池袋 4-5-2）、にしすがも創造舎特設劇場（西巣鴨 4-9-1）

主 催：フェスティバル／トーキョー実行委員会、東京都、豊島区、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人としま未来文化財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン

問い合わせ：フェスティバル／トーキョー実行委員会事務局（NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内）。

<http://festival-tokyo.jp>



フェスティバル／トーキョーでは、国内外からの新作・世界初演を含む約 20 演目のラインナップに注目が集まる。約 1 ヶ月に渡る期間中には、池袋西口公園を使った野外イベントなど地域・区民との協働で様々な仕組みや関連プログラムを充実させ、フェスティバルを広くアピールする。

【現在確定している演目の紹介】

- ◇ 新作 『オセロー』 演出：イ・ユンテク 【韓国】 2/27～3/1 東京芸術劇場中ホール
- ◇ 『金柑少年』 演出・振付・デザイン：天児牛大（山海塾） 3/7・8 東京芸術劇場中ホール
- ◇ 『転校生』 演出：飴屋法水 作：平田オリザ 3/26～29 東京芸術劇場中ホール
- ◇ 『95kg と 97kg のあいだ』 演出：蜷川幸雄 作：清水邦夫 出演：さいたまゴールド・シアター、NINAGAWA STUDIO、横田栄司ほか 3 月下旬 にしすがも創造舎特設劇場
- ◇ 『カール・マルクス：資本論、第一巻』 演出：ヘルガルド・ハウグ、ダニエル・ヴェツェル（リミニ・プロトコル）【ドイツ】 2 月末～3 月上旬 にしすがも創造舎特設劇場
- ◇ 『Hey Girl!』 演出：ロメオ・カステルッチ（ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ）【イタリア】 3 月中旬 にしすがも創造舎特設劇場
- ◇ 新作『ユートピア？』 作・演出：平田オリザ、アミール・レザ・コヘスタニ【イラン】シルヴァン・モーリス【フランス】 3 月下旬 あうるすぽっと
- ◇ 新作・タイトル未定 振付・演出：白井剛 3 月中旬 東京芸術劇場小ホール 1
- ◇ 新作『Voiceprints City -Letter to FATHER/声紋都市- 父への手紙』作・演出：松田正隆（マレビトの会） 3 月中旬 東京芸術劇場小ホール 1

問い合わせ： フェスティバル／トーキョー実行委員会事務局
NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内

F/T09

フェスティバル/トーキョー トーキョー発、舞台芸術の祭典 2009年2月～3月開催決定

PRESS RELEASE

9月9日現在

開催概要

| | |
|-------|---|
| 名称 | フェスティバル/トーキョー Festival/Tokyo |
| 会期 | 2009年2月下旬～3月下旬 |
| 会場 | 東京芸術劇場 中ホール、小ホール1・2 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) にしすがも創造舎特設劇場 ほか |
| プログラム | 国内外から舞台芸術(演劇・ダンス)作品を20演目程度ラインナップ |
| 主催 | 東京都、財団法人東京都歴史文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会 |
| お問合せ | フェスティバル/トーキョー事務局 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 にしすがも創造舎 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 Mail:toiawase@anj.or.jp http://festival-tokyo.jp |

東京文化発信プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の波

F/T09 フェスティバル／トーキョー

PRESS RELEASE

開催のお知らせ

2009年2月下旬～3月下旬

▼なぜ今舞台芸術のフェスティバルなのか

今日、私たちの生きる社会においては、テクノロジーのデジタル化に伴い、迅速で単純化されたコミュニケーションが増え、人間関係の希薄化、対話力の低下など様々な社会問題が指摘されています。こうした社会状況に対し、決して単純化することができない生のコミュニケーションのアートとして、演劇やダンスなど舞台芸術の力が再び注目されています。

▼「生のコミュニケーション」を発見、共有する舞台芸術の祭典

フェスティバル／トーキョーでは、身体やことば、音や映像など五感にフルに働きかける舞台芸術ならではの表現によって、その場、その瞬間にしか体験できない強いコミュニケーションの場、リアルな体験の場を創出します。そこには多くのアーティストや参加者が集い、私たちが生きる今日の世界について、その表現と可能性について、アートを媒介としながら発見・共有する場としていきたい考えです。

▼舞台との出会いから参加へ

第一回目の開催にあたっては、国内外からあわせて新作・世界初演を含む20演目程度がラインナップされるほか、池袋西口公園を使った野外イベントなど、地域・市民との協働のもとフェスティバルを盛り上げる様々な仕組や関連プログラムを充実させていきます。また、これまで舞台芸術との接点が少なかった方々にも広く楽しんで頂ける工夫を随所に施し、フェスティバルの存在そのものを広くアピールして参ります。

第二回目(2009年秋)は、子供や高齢者、また日本在住の外国人など、広い層の方々に舞台表現の奥深さに触れていただくため、多様なレクチャーやワークショップ等、周辺プログラム等も充実させてまいります。

続く第三回目(2010年秋)には、多くの方々が実際に舞台作品の創作にも参加する機会をさらに増やし、日常生活の中に舞台芸術が浸透する様々な仕掛けづくりを行ってまいります。

私たちはこのフェスティバルの開催を通じて、次の時代を切り開く新しい価値の創造に着手し、国際都市トーキョーから世界に向けた創造と発信を推進していきます。

フェスティバル／トーキョー 主催者一同

F/T09

フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

演目紹介

以下の作品を、フェスティバル/トーキョーの主催演目として、ラインナップしています。
今後、追加演目、及び関連企画等の発表を予定しています。

新作 『オセロー』

演出：イ・ユンテク【韓国】

2月下旬～3月上旬 東京芸術劇場中ホール

平川祐弘が謡曲台本に翻案した『夢幻能 オセロー』を、韓国現代演劇界を代表するカリスマ演出家、イ・ユンテクが、韓国のシャーマニズム舞踏(招魂クツ)を取り入れた新演出で上演します。初演は、ク・ナウカ シアターカンパニーにより、東京国立博物館庭園の野外ステージにて上演されました。今回は、ク・ナウカ シアターカンパニーの初演時の中心俳優とイ・ユンテクの劇団(演劇団コリペ)の主要俳優という日韓俳優のコラボレーションにより、シェイクスピアの『オセロー』に新たな生命を吹き込む意欲作。アジアにおけるシェイクスピア上演の一つの指針を示す壮大で画期的な試みです。

『金柑少年』

演出・振付・デザイン：天児牛大(山海塾)

3月上旬 東京芸術劇場中ホール

世界各地のあらゆる文化圏において極めて高い評価を得ている天児牛大率いる山海塾。今回上演される『金柑少年』は、1978年6月に初演され、1993年のパリ市立劇場での最終公演まで、15年にわたり世界21カ国113都市で上演を重ねた山海塾の現在につながる記念碑的な作品です。2005年のリ・クリエーションを経て初演から30年の歴史を重ね、なおも新しい領域へと進み続けるこの作品は、世代を超えて観客の心に感動を呼び起こします。

『転校生』

演出：飴屋法水 作：平田オリザ

3月下旬 東京芸術劇場中ホール

21人の女子高校生のために書いた平田オリザの戯曲『転校生』に、演劇界・美術界で伝説的な話題を集める飴屋法水が SPAC - 静岡県舞台芸術センターの製作により挑んだ衝撃作の再演がついに実現。出演するのは、静岡県全域からオーディションで選ばれた女子高校生たち。ある高校の教室、いつもと変わらない日常に、突然ひとりの転校生が現れる…。単調な日常に潜む他者との出会い、人間の存在の不確かさが浮かびあがります。

F/T09

フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

『95kg と 97kg のあいだ』

演出：蜷川幸雄 作：清水邦夫

出演：さいたまゴールド・シアター、NINAGAWA STUDIO、横田栄司ほか

3月下旬 にしすがも創造舎

世界の巨匠、蜷川幸雄率いる55歳以上の団員による演劇集団さいたまゴールド・シアター。結成から3年を経て、はじめて本拠地である彩の国さいたま芸術劇場を飛び出し、東京・西巣鴨での遠征公演を行います。団員たちの実人生経験がにじみ出るような力演に加え、横田栄司を始めとする客演俳優たちの迫力の演技、そして蜷川幸雄率いる若手カンパニーNINAGAWA STUDIOの若い俳優たちとの競演も見どころです。

『カール・マルクス：資本論、第一巻』

演出：ヘルガルド・ハウグ、ダニエル・ヴェツェル(リミニ・プロトコル) 【ドイツ】

2月末～3月上旬 にしすがも創造舎

ヨーロッパを中心に爆発的な人気を誇るアーティスト集団リミニ・プロトコル。プロの俳優ではなく、一般の人々を舞台に上げるドキュメンタリー演劇の手法で、新しい形の演劇を創造し注目を集めています。本作品でも、マルクスの資本論とともに人生を歩んできた、ホンモノの経済学者、翻訳家、テレホンオペレーター、自称革命家、などが登場。今、資本論が世界に持つ意味とは？日本でも最も資本論に影響を受けてきた団塊の世代に捧げる、世界の超話題作です。

『Hey Girl!』

演出：ロメオ・カステルッチ(ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ) 【イタリア】3月中旬

にしすがも創造舎

世界で最も有名な演劇祭のひとつアヴィニオン演劇祭でも、今年度最大の注目を集めた、イタリアの異才ロメオ・カステルッチ。極限まで洗練された造形美の中に、生と死、自己と他者、愛と暴力など、人間の深遠に触れる強いイメージを生み出す才能は、演劇界のみならず、美術界でも高く評価されています。シリコンやレーザーなどを駆使した最新の舞台美術も圧倒的。

新作『ユートピア?』

作・演出： 平田オリザ

アミール・レザ・コヘスタニ 【イラン】

シルヴァン・モーリス 【フランス】

3月下旬 あうるすぽっと

日本の演劇界を牽引する平田オリザ、斬新なテキストと演出で世界の注目を集めるイラン人演出家アミール・レザ・コヘスタニ、ブザンソン国立演劇センター芸術監督シルヴァン・モーリスによるコラボレーション作品。各アーティストが1幕ずつ作・演出を担当し、共同で作品を作り上げます。3カ国から各3名ずつ、計9名の役者たちは、言語や文化の差異とどう向き合うのでしょうか？世界初、日本／イラン／フランスの演劇人による合作は、コミュニケーションのアートとしての演劇の可能性を私たちに示してくれることでしょう。

F/T09

フェスティバル/トーキョー
PRESS RELEASE

新作・タイトル未定

振付・演出：白井剛

3月中旬 東京芸術劇場小ホール1

2006年に若手振付家の登竜門であるトヨタ・コレオグラフィーアワードで最高賞を受賞した白井剛。今回は、京都芸術センターの招きにより2ヶ月間京都での滞在制作を行い、京都在住のアーティストやダンサーとの共同作業から、テキストと音楽、そして身体を横断する新たな表現に挑戦します。

新作『Voiceprints City —Letter to FATHER／声紋都市— 父への手紙』

作・演出：松田正隆（マレビトの会）

3月中旬 東京芸術劇場小ホール1

第40回岸田國士戯曲賞を受賞し、国内外で活躍する劇作家・演出家、松田正隆による新作公演。これまでも自らの出身地・長崎を描いてきた劇作家は今回、長崎に在住する自らの父親へのインタビューを出発点に、演劇における「歴史」の新しい記述を試みる意欲作となります。

[F/T 参加作品]

都内各劇場や、劇団等の協力により、以下の演目を参加作品として上演致します。

『春琴』

演出：サイモン・マクバーニー【イギリス】

3月上旬～中旬 世田谷パブリックシアター

イギリス人演出家サイモン・マクバーニーが、谷崎潤一郎の『春琴抄』、『陰翳礼讃』をもとに日本文化の本質に迫った『春琴』。08年2月世田谷パブリックシアターでの初演では惜しみない賞賛を浴びた話題作が、ロンドン公演を経て、凱旋公演を行います。

F/T09 フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

メイン会場

フェスティバル/トーキョーは、東京都・豊島区・池袋を中心に、3つのメイン会場で開催されます。

■東京芸術劇場

(運営:東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場は、東京都が都民のための音楽・演劇・歌劇・舞踊等の芸術文化の振興とその国際交流を図るため、平成2年10月に開館しました。施設として大ホール、中ホール、小ホール1、小ホール2ほか、会議室や展示ギャラリー等を運営しています。フェスティバルでは中ホールと小ホールを使用します。平成20年度4月、演出家野田秀樹氏が芸術顧問に、平成21年度中には芸術監督に就任し芸術文化の創造振興拠点としての劇場の役割を強化することになりました。



■あうるすぽっと

(運営:としま未来文化財団)

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)は、演劇を中心とした舞台芸術の発信・創造・育成のための劇場として、平成19年9月に開館しました。301席のコンパクトで臨場感あふれる、観る人にも、創る人にも親しまれる劇場です。劇場プロデュース公演や提携公演などを中心にした公演プログラムと、ワークショップやレクチャーなどの育成プログラムを展開し、発信する劇場として注目されています。



■にしすがも創造舎

(運営:NPO法人アートネットワーク・ジャパンとNPO法人芸術家と子どもたち)

にしすがも創造舎は、中学校の廃校を転用し、文化芸術創造の拠点として、平成16年8月に開館しました。稽古場施設を中心に、より開かれた形をめざしアートと地域を結ぶ多様なアートプログラムを展開しています。元体育館を転用した200席の特設劇場は、東京国際芸術祭(TIF)のメイン会場として、開館当初からアーティストの活動を支えてきました。フェスティバル/トーキョーでも、可動する空間の特性を生かし、国内外の演目を上演予定です。

